



2022年9月26日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード: 4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IRグループ
<https://www.anges.co.jp/contact/>

新株予約権発行に係る資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年3月8日付「第41回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）の募集に関するお知らせ」（以下「発行時お知らせ」といいます。）にて公表いたしました、当社第41回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）（以下「第41回新株予約権」といいます。）の発行及びその行使により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期について、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、第41回新株予約権については、2021年5月18日までにそのすべての行使が行われ、これにより、当社は差引手取概算額約17,376百万円を調達しております。

1. 変更の理由

第41回新株予約権の発行及びその行使により調達する資金については、発行時お知らせにおいて開示しましたとおり、(i)当社の子会社である米国 EmendoBio Inc.（所在地 400 W 61st St, #2330 New York, NY USA CEO David Baram。以下「Emendo社」といいます。）の運営資金（発行時における調達予定資金の額9,000百万円）、(ii)さらなる事業基盤拡大のための資金（発行時における調達予定資金の総額約7,832百万円）（内訳：(a)海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大（発行時における調達予定資金の額6,832百万円）、及び(b)その他の手段による事業基盤拡大（発行時における調達予定資金の額1,000百万円））を調達することになりました。なお、第41回新株予約権の発行及びその行使により現に調達した資金の金額は、発行時における調達予定資金の総額約16,832百万円を約643百万円上回るものでした（かかる余剰を、以下「余剰調達資金」といいます。）。

しかしながら、Emendo社の運営資金については、最先端のプラットフォーム技術加速のための研究開発費用の増加、設備投資実施により支出予定時期を約1年間前倒ししております。具体的には、Emendo社は新たなゲノム編集ツールを作出する技術（OMNI Platform）を活用し、ELANE 関連重症先天性好中球減少症（SCN）を対象に、米国FDA（米国食品医薬品局（Food and Drug Administration））へ治験届を提出するための有効性・安全性を担保するデータの収集及び治験用のゲノム編集ツールの製造等の準備を進めるために、設備投資で約4億円、残りはマンパワーの増強等による研究開発費が増加しております。

また、海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大については、前回資金調達以降に実施した案件はなく、引き続き検討を重ねております。しかし、現時点で具体的な案件発掘に至っておりません。

他方、当社は、依然として開発への先行投資の段階にあるため赤字の計上が続いている状況にあり、また、今後かかる状態が続くことが見込まれますし、事業基盤の拡大も引き続き図っていく必要があります。当初、当社の運転資金はこれまでの資金調達による手取金を原資とした資金より充当する形を考えていましたが、Emendo社の運営資金への支出等の事情に鑑み、新たに確保する必要が生じて参りました。そこで、既存開発品の開発等その他の手段による事業基盤拡大及び当社の2022年10月以降の運転資金（人件費、研究消耗品、支払手数料、地代家賃等）について、当該資金使途に係る未充当額の一部及び余剰調達資金の一部を充当いたします。なお、2024年1月以降の運転資金については、これまでの資金調達による手取金を原資とした資金を充てるほか、当該時点における最適な方法による資金調達により賄う想定です。

2. 資金使途変更の内容

[変更前]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
Emendo 社の運営資金	9,000	2021年3月～ <u>2023年12月</u>
海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大	<u>6,832</u>	2021年7月～2025年6月
その他の手段による事業基盤拡大	<u>1,000</u>	2021年7月～2025年6月
合計	<u>16,832</u>	

[変更後]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
Emendo 社の運営資金	9,000 (1,660)	2021年3月～ <u>2022年12月</u>
<u>運転資金</u>	<u>3,800</u> (3,800)	<u>2022年10月～2023年12月</u>
海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大	<u>3,032</u> (3,032)	2021年7月～2025年6月
その他の手段による事業基盤拡大	<u>1,544</u> (1,004)	2021年7月～2025年6月
合計	<u>17,376</u> (9,496)	

(注) 上記の金額欄の括弧書きの数値は現時点における未充当額となります。

3. 今後の見通し

本資金使途の変更による当社連結業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。